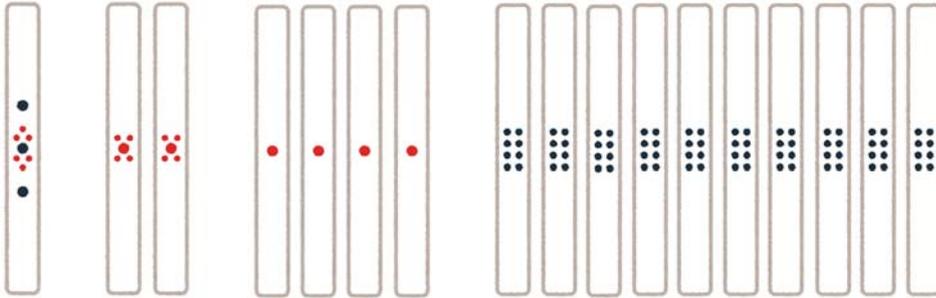


【準備】

★ 牌を出し、点棒を用意しましょう

点棒は

10,000 点(1 本)、5,000 点(2 本)、1,000 点(4 本)、100 点(10 本)



★ 席を決めます

下の 4 つの牌を裏にして、一人ずつ好きな牌をとります。
みんなで同時に開いて確認しましょう。



「東」の牌を引いた人から
反時計回りに「南」「西」「北」と座ります。

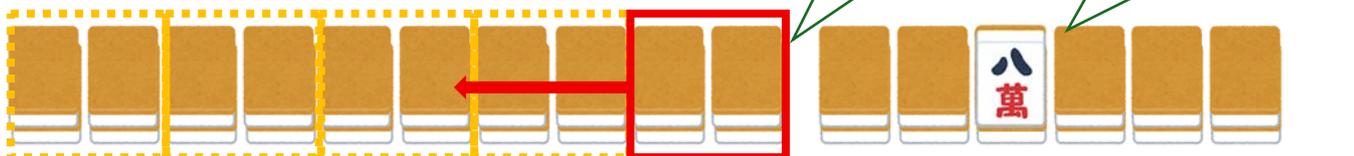
ここで、座席が決まります。ゲームができるように、牌を並べましょう！

★ 親を決めます

牌が並んだら親を決めます。

- ① 「東」の人がサイコロを 2 つ振ります。
- ② 2 つの合計を、**自分を1として**反時計回りに合計の数だけ数えます。
- ③ 合計の数と同じ数の人が「親」となります。
- ④ 「親」がもう一度サイコロを振ります。
- ⑤ ②と同じように数え、当たった人の前の牌を下のようにして、「親」から順番に 4 つずつ時計回りに牌をとっていきます。

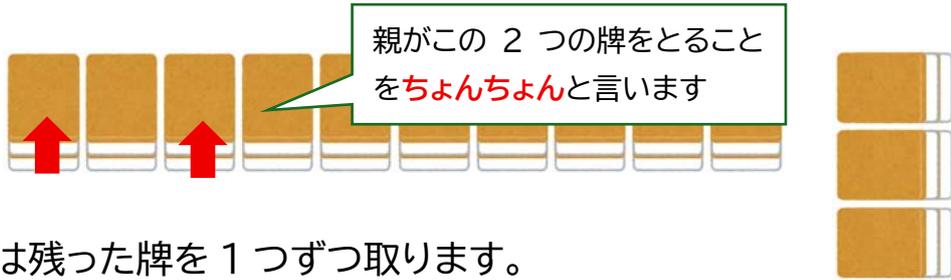
例) 親が振ったサイコロの合計が6だった場合



2025.5.14~



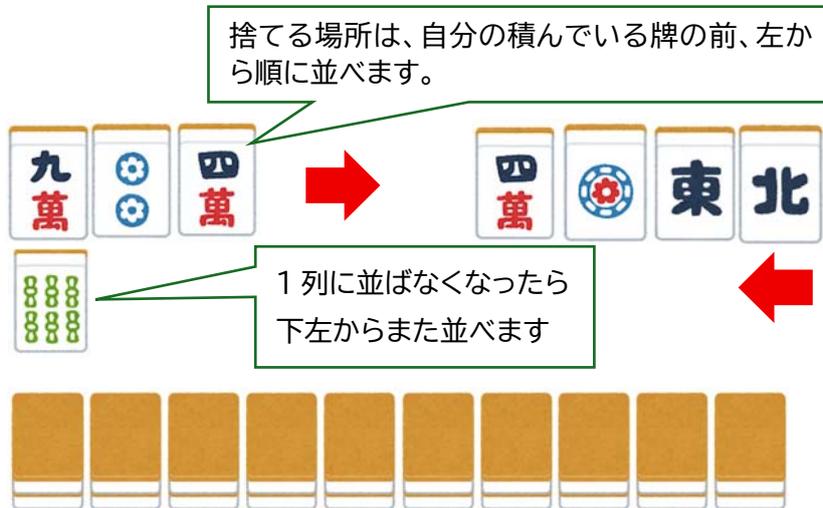
親は牌を 12 個(4個×3回)取った後、4 回目は上の段の矢印の牌をとる。



その後、「子」は残った牌を 1 つずつ取ります。

この時点で親は 14 個牌が手元にあります。
子は 13 個牌が手元にあります。

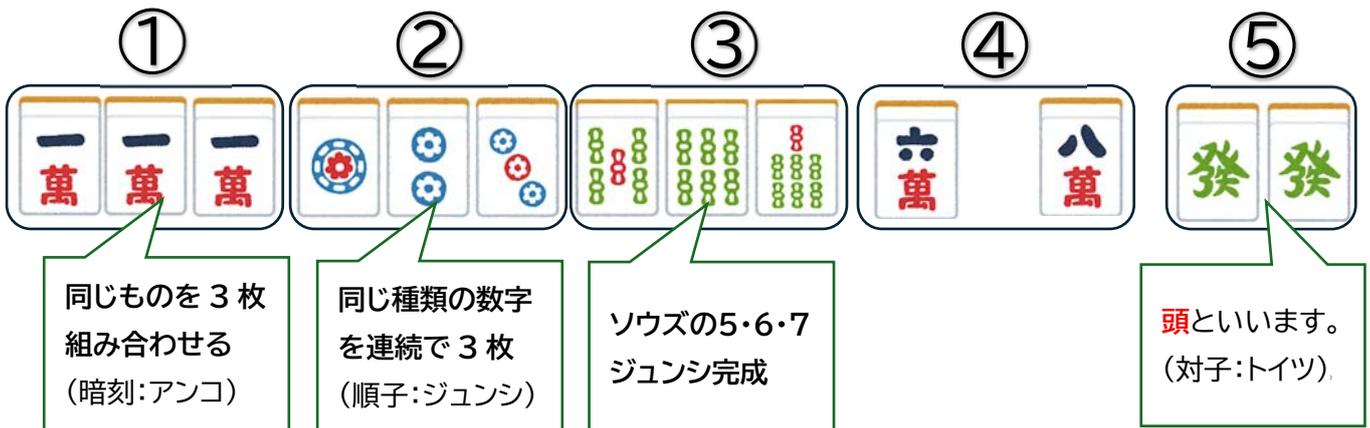
子が 1 つずつ取り終わったら、親が 1 ついらぬ牌を前に出します。



ここで親の牌も 13 個になります。

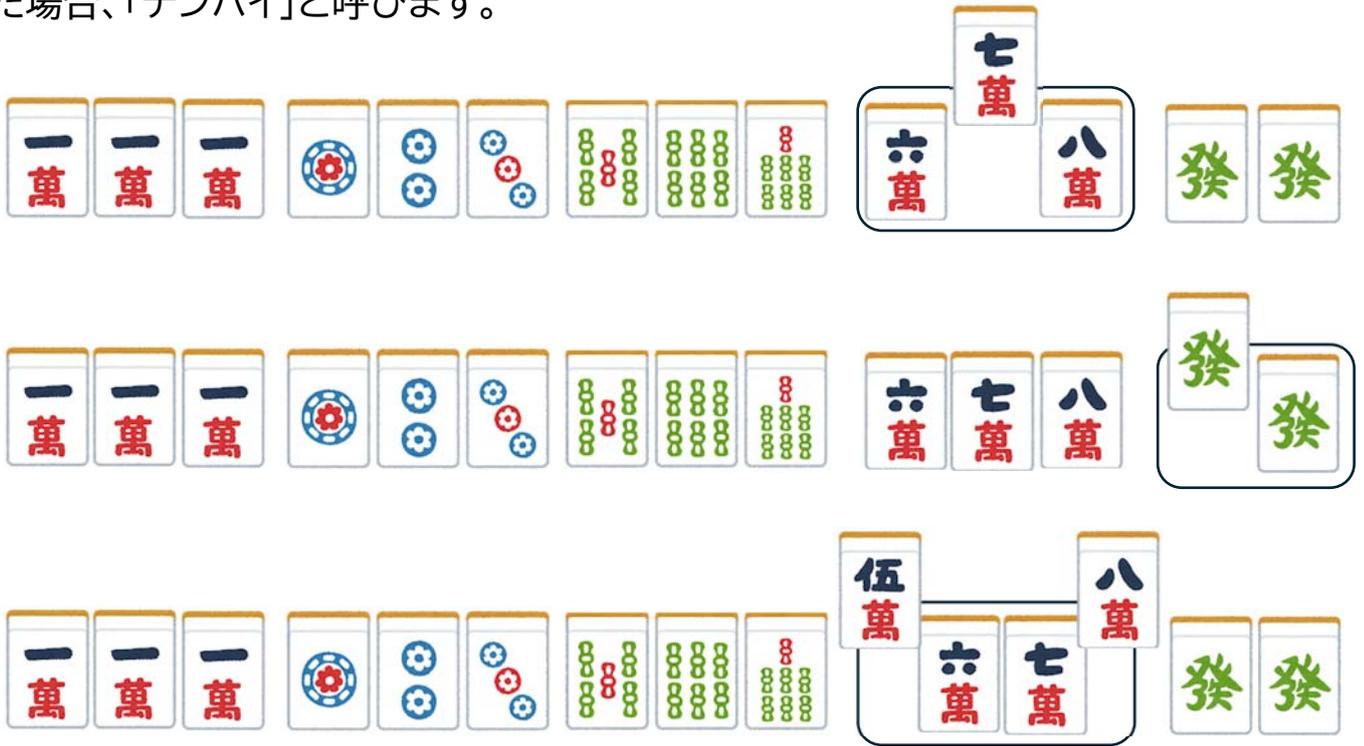
次の人が 1 つ牌をとって、いらぬ牌を 1 つ捨てます。
(牌をツモって、いらぬ牌をきるといいます)

これを繰り返し、自分の牌を 同じ牌を 2 枚 と同じ牌 3 枚または、同じ種類の
続きの数字を 3 枚のセットを 4 つ揃えていきます。

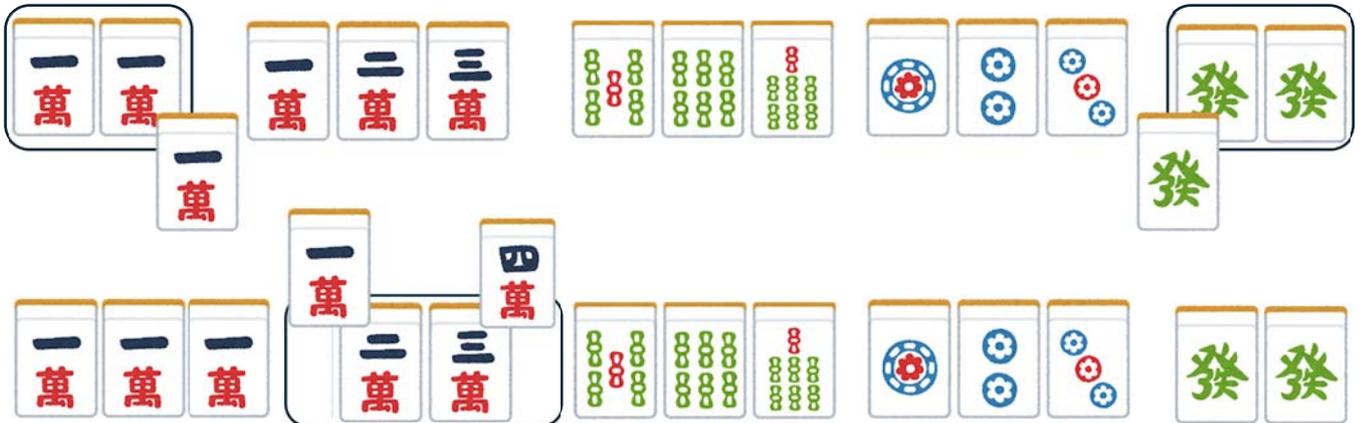


2025.5.14~

すると、④のようにあと 1 枚で 3 つの組み合わせが完成するという状態になった場合、「テンパイ」と呼びます。



この場合、はどの牌で上がることができるのか？



この3つの牌があたりの牌になります。
あたりの牌がたくさんある方が、上がる確率が高いです。ただし、1万は4枚しかないので、場に捨てられていると4万と發であたりになります。

あがるためのルール

集めた牌に「役」が1つ以上あること

※「役」は別紙参考

役がないと「頭」と「3枚の組み合わせ×4」が揃ったとしても、上がることはできません。

一番簡単な役は「リーチ」です。リーチをすると「役」がひとつつきます。これであがることができます。鳴く(ポン・チー)などをするとリーチができません。まずは、リーチを目指しましょう。

リーチをすると、裏ドラを見ることができます。得点が高くなるかもしれません(笑)

例)リーチをして、自分で引いた牌があたりの牌で、さらにドラがあった場合。

- リーチ(役です) …………… 1 翻
- ツモ(役です) …………… 1 翻
- ドラ(役ではありません) …………… 1 翻

合計 3翻あるので、親の場合は 5,800 点、この場合は 3,900 点、もらうことができます。

このように役やドラをたくさん含めることで、点数が高くなります。「役」を覚えてそろえるようになると強くなれますね。